



苫小牧「近所の自然散歩」2020年度のまとめ

苫小牧「近所の自然散歩」は、2002年に「身近な場所で植物や野鳥を観察し楽しみたい」ということで始めました。2020年度は、新型コロナの影響で参加の呼びかけを控えさせていただきましたが、少人数での調査を継続し、里山モニタリング調査「開花植物」「野鳥」「哺乳類」を実施しました。調査には11名(延べ42名)の方が参加し、一緒に調べました。調査に参加いただいた皆様、ありがとうございました。

■モニタリングサイト 1000 里地調査について

全国に1000ヶ所ほどの場所で、動植物の生息状況などを100年にわたって調べ続け、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省のプロジェクトです。このうち日本自然保護協会が実施する里地里山タイプの調査地として「苫小牧近所の自然散歩」開催地が登録されています。市民参加によるボランティア調査です。2021年度も、「植物調査」「鳥類調査」「哺乳類調査」を実施します。

■モニタリングサイト 1000 調査結果

☆草花の調査

4月～10月の7ヶ月間、植物調査を行い全部で211種類を記録しました。草本の蕾、花、実のある植物を記録。木本、イネ科、カヤツリグサ科、シダ植物は調査対象外ですが、観察したものを気まぐれに記録しています。2020年度の出現種は別紙の表(全3ページ)に掲載します。今年度の初記録が、アキカラマツ、アメリカオニアザミ、イチヤクソウ、ヒトツバイチヤクソウ、エゾナミキ、エゾイヌゴマは、「哺乳類調査で例年のルートから少しずれたことによる発見」と「林の伐採による環境の変化」が理由として考えられます。エゾイヌゴマは、イヌゴマの間違いでないか、今年再度確認したいと思っています。その他、住宅街でコヒルガオ、ヌカイトナデシコ、ノハラナデシコが初記録されました。

例年観察されていた目立つ植物のクサレダマ、ユキザサ、ウド、オオウバユリ、オククルマムグラ、オニシモツケ、シコタンタンポポ、ノブキなどの記録が無く、見落としもあると思いますが、エゾシカによる食害の影響が考えられます。

☆野鳥の調査

6月に繁殖期の調査を、1-2月に越冬期の調査を行いました。全部で44種類を記録しました。ハイタカ、ノスリ、カス、エガ、ミソサザイ、ジョウビタビ、ベニマシコ、ウリ、カシラダカは、久々の記録です。キイタガキが初記録です。2020年度の出現種は別紙の表に掲載します。

☆哺乳類の調査

自動撮影カメラを設置し、撮影された哺乳類を記録する調査です。254枚の写真が撮れ、キツネ、アライグマ、ニホンジカ、ネズミ類が記録されました。昨年記録のタヌキは記録なしです。

主催・発行：自然ウォッチングセンター 島田(鎌田) 恵実

Tel011-583-5208、Fax011-583-5233、携帯 090-6872-3045

Eメール ohyou-nire@s2.dion.ne.jp ホームページ <http://shizen.la.coocan.jp/>

2021年の予定は、
裏面へ。